

インテレクチャル・カフェ広島

- 若手研究者を核とした「知」の融合 -



< “インテレクチャル・カフェ広島”の趣旨>

広島地域における大学の若手研究者と、産業界・金融機関・行政等が交流し、新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークの形成を目指します。

<平成23年度 第2回開催日時等>

日時：平成23年12月13日（火）17：30～20：00

テーマ：『地球環境とテクノロジー』

場所：ひろしまハイビル21（17階）（広島市中区銀山町3-1）

定員：80名程度

参加会費：2,000円

主催：中国地域産学官コラボレーション会議

共催：県立広島大学、広島国際大学、広島工業大学（幹事校）

<概要>

- | | | |
|-------------|------|---|
| 17:30～17:35 | 開会挨拶 | 広島工業大学 学長 鶴衛氏 |
| 17:35～18:00 | 話題提供 | 『ナノカルシウムによる放射性セシウムの処理技術』
県立広島大学 生命環境学部 環境科学科 准教授 三苦好治氏 |
| 18:00～18:25 | 話題提供 | 『新たな空調システム実現のための取り組み』
広島国際大学 工学部 住環境デザイン学科 講師 深川健太氏 |
| 18:25～18:50 | 話題提供 | 『地球温暖化に伴う氷河の変化』
広島工業大学 環境学部 地球環境学科 教授 内藤望氏 |
| 19:00～20:00 | 交流会 | （軽食と飲み物による立食形式） |



[会場アクセス]

- ・JR 広島駅から、バス（市内線）または市内電車で約5分（「銀山町」下車）
- ・ビル1階が「広島銀行 銀山支店」です
- ・入口はビルの西側にあります

< 話題提供の概要 >

『ナノカルシウムによる放射性セシウムの処理技術』

三苫 好治 氏(県立広島大学 生命環境学部 環境科学科 准教授)

このたびの東日本大震災による福島第1原発事故により、周辺地域への放射性物質の拡散が深刻な問題となっています。

本講演では、当該研究者らが独自に開発したスマート環境材料である“ナノカルシウム”を用いた重金属不溶化技術を基に、簡便で実用的な放射性セシウムの処理技術と、その応用例を紹介します。

『新たな空調システム実現のための取り組み』

深川 健太 氏(広島国際大学 工学部 住環境デザイン学科 講師)

近年、持続可能な社会の実現に向けて、消費エネルギー量の削減や再生可能エネルギーの開発が急務となってきています。消費エネルギーの削減においては、空調負荷の削減が重要といえます。

講演では、人間の温冷感覚を左右する様々な要因を詳細に検討することで、より効率的な設備の運用が可能となる、環境にやさしい空調システムを提案します。

『地球温暖化に伴う氷河の変化』

内藤 望 氏(広島工業大学 環境学部 地球環境学科 教授)

マスコミ等で「地球温暖化で氷河が融解し世界の海面が上昇する」とよく紹介されますが、氷河の変化はさほど単純なものではありません。これまで現地調査・研究に携わってきた、南極、ヒマラヤ、パタゴニアにおける氷河変化の実態や将来予測について、最新の科学的知見や未解明な課題を、写真・イラスト等も織り交ぜながら解説します。

申込先 幹事校：広島工業大学 共同研究機構/地域連携推進室 行き

FAX：082-921-8963、E-mail：kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp

申込期限 平成23年12月2日(金)

問い合わせ 幹事校：広島工業大学 地域連携推進室 担当：元木、桜井

TEL：082-921-4222、FAX：082-921-8963

お申し込みの際にご提供いただきました個人情報は、以下に掲げる目的に限り使用致しますので、事前にご確認・ご了解のほどよろしくお願い致します。

- ・ 申込み内容の確認
 - ・ 参加登録者の名簿作成(名簿記載事項は、所属会社名(団体名)、役職、氏名)及び主催、共催機関による共有
 - ・ 中国地域産学官コラボレーション会議から産学官連携に関する各種情報のご案内
- 以上

『インテレクチャル・カフェ(12月13日)』

参加申込書

会社名(団体名)		
住所	〒	
連絡担当者	担当者氏名	
	(TEL)	(E-mail)

【参加者】

部署	役職	氏名